

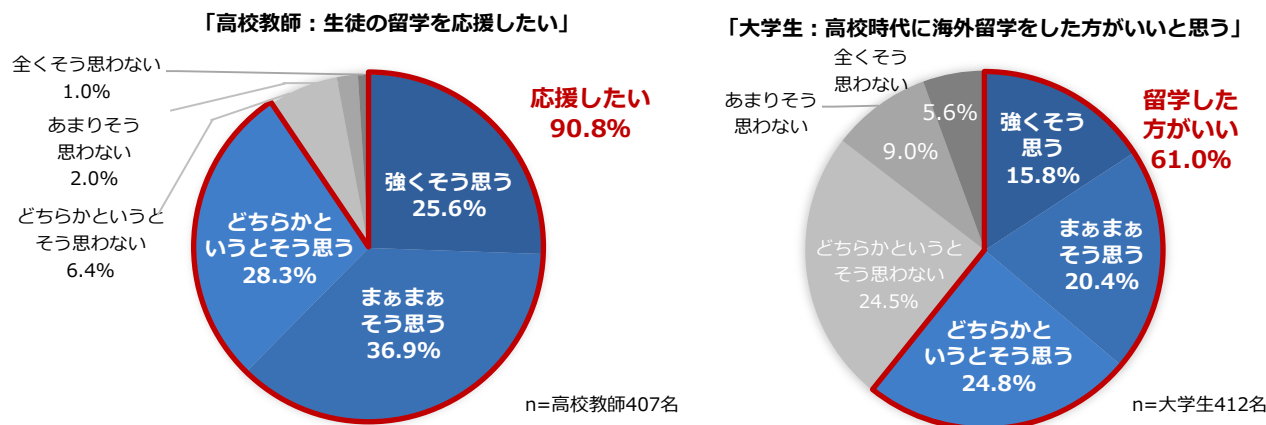
高校生の留学支援の鍵を握る高校教師の留学に対する実態を調査
**9割の高校教師が高校生の留学を「応援したい」一方、
留学経験のある高校生はわずか約1%**
～高校教師の半数以上がノウハウ・情報不足を課題視～

文部科学省が官民協働で取り組んでいる留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」は、2018年5月に、インターネットにて「高校教師と留学に関する意識調査（高校教師407名・大学生412名・保護者412名より有効回答）」を実施しました。今回の調査によって、9割以上の高校教師が高校生時の海外留学を応援しながらも、ノウハウ不足や情報不足が学生へのサポートの課題となっていることが明らかになりました。

■高校生の留学の価値は理解されながらも「留学経験のある高校生は約1%」

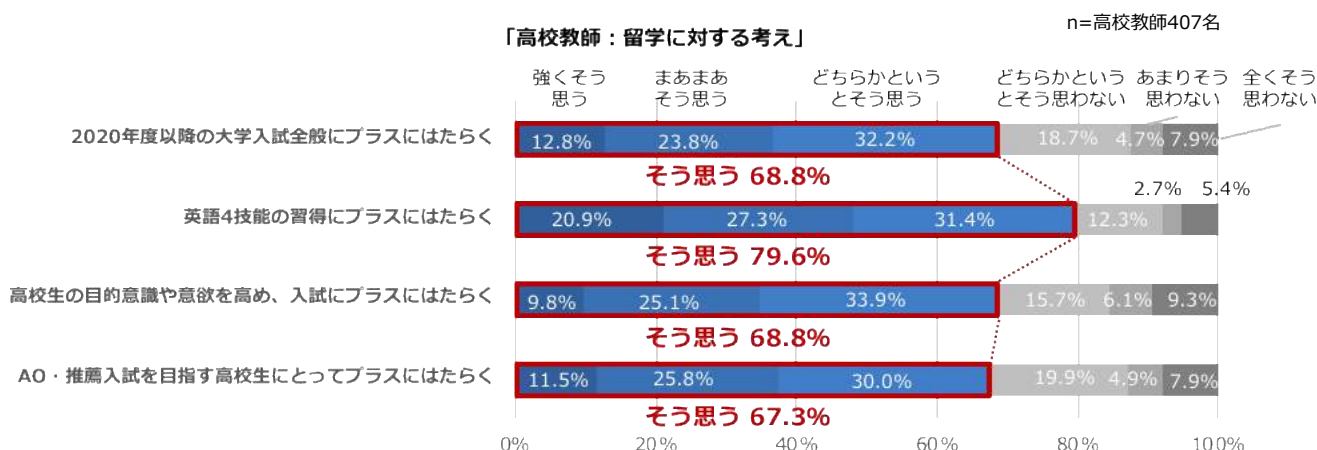
「トビタテ！留学JAPAN」高校生コースでも在籍高校を通じて応募する必要があり、高校生の海外留学の場合、在籍高校からの支援が得られることが不可欠です。本調査によれば、「生徒が海外留学をしたい」と言った場合に、応援したいと考える高校教師は9割を超え、大学生も6割以上が「高校時代に留学した方がいい」と考えており、高校生の留学は好意的に受け入れられていることがわかりました。一方、**日本全体で留学経験のある高校生は約1%※1と非常に少なく**、留学の意義は理解されながらも、実際の留学にはなかなか結びついていない現状が浮き彫りになりました。

※1・「文部科学統計要覧」（平成28年度）高等学校等生徒数と、「高等学校等における国際交流等の状況について」（平成27年度）の調査結果より算出



■約7割の高校教師が「2020年度以降の大学入試」でますます留学経験がプラスになると認識

高校での留学は目的意識や意欲を高めることにも繋がり、AO入試や推薦入試にもプラスになると7割近い高校教師が認識しています。加えて、**2020年度よりセンター試験が廃止され、現在の高校1年生（2018年時点）から「大学入学共通テスト」を受検することが決まっています**。特に英語は4技能（読む・聞く・話す・書く）が評価される形式に変更され、より実践的な英語力が重視されます。高校教師の**79.6%**が高校での留学経験が英語4技能の習得に役立ち、**68.8%**がこうした**2020年度以降の入試にも役立つ**と考えています。

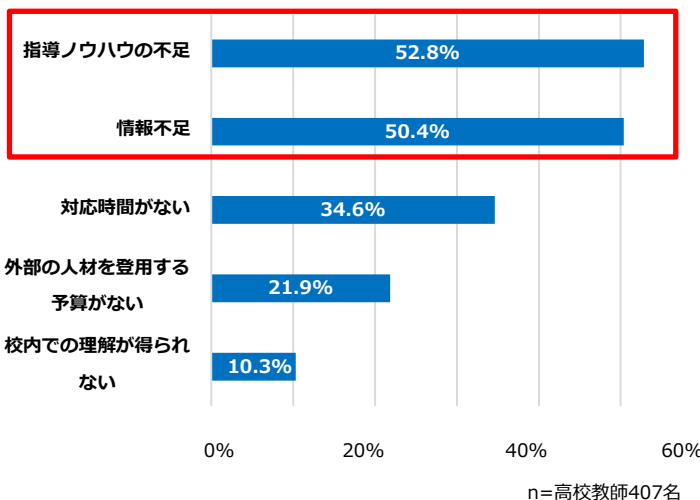


■海外留学のサポートのためにさらなる情報やノウハウの提供が求められる

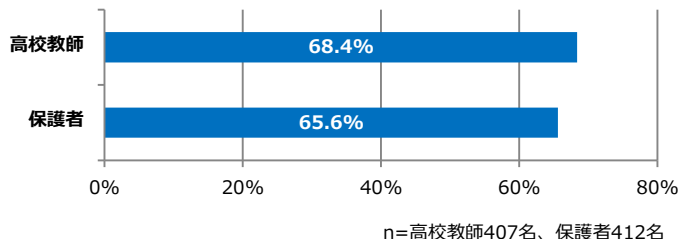
高校教師に高校生の留学サポートにあたり課題だと思うことを聞くと、半数以上が「指導ノウハウの不足」「情報不足」を挙げ、**応援したい思いがありながらも、十分な知見がないことにより、サポートができていない現状が浮き彫りになりました。**さらに、**高校教師の68.4%、保護者の65.6%が「教員の留学増加が日本の教育の発展に有効」と回答し、**高校教師のグローバル化も必要だと考えている人が多いことが見受けられました。

一方で、文部科学省では、世界50か国以上にある在外教育施設（海外にある日本人学校等）に国内から教師を派遣しています。また、2017年8月、在外教育施設への教師派遣の魅力を高め、在外教育施設を活用してグローバル教師を育成することを目的に、「トビタテ！教師プロジェクト」を始動しました。同プロジェクトの一環として、日本人学校における教育実習の受入れを可能とする制度の創設を検討するなど、教師のグローバル化を推進する取組を計画しています。さらに、トビタテ公式HP内に高校教師のための生徒の海外留学サポートお役立ちガイドページを7月下旬に公開予定です。
(www.tobitate.mext.go.jp/teachers/)

「高校教師が生徒の留学サポートにあたり課題だと感じること」



「教員の留学増加が日本の教育の発展に有効」



■「就職活動と留学に関する意識調査」 調査概要

対 象：高校教師407名・大学生412名・保護者412名

※調査結果の数字は四捨五入のため合計値が必ずしも一致しない場合があります。

調査方法：インターネット調査

調査期間：2018年5月8日（火）～5月16日（水）

■「トビタテ！留学JAPAN」とは

文部科学省初の官民協働留学促進キャンペーン。2020年までに、海外留学する学生を倍増する目標を掲げてスタート。主な取り組みである「日本代表プログラム」は、100%民間の寄附を財源とし、民間企業約230社から116億円以上の寄付が集まり、返済不要の奨学金でサポートする留学支援制度です。留学期間を28日以上2年以内で自由に設定でき、渡航先100か国以上、多様な7コースを用意。座学だけではない多様な留学を通じて、産業界を中心に社会で求められる人材、世界で活躍できる人材の育成を目指し、既に5,000名以上を選抜し約100か国に留学しています。

【「トビタテ！留学JAPAN」日本代表プログラム 高校生コースとは】

高校生コースは、留学内容・渡航先・期間（14日間～1年間）を生徒が自由に設計し、返済不要の奨学金や研修等を通して学生の留学を支援する制度です。留学経験の質を高めるため、留学の前後に研修を実施するほか、留学後の継続的な学習や交流の場としての留学生ネットワークを構築します。

参照 <https://www.tobitate.mext.go.jp/hs/program/index.html>

2018年7月より日本代表プログラム高校生コース4期生535名が世界50か国に随時飛び立ちます。留学する高校生への取材を希望される場合、ぜひお問い合わせください。（具体例は別添資料をご参照下さい。）



<本件に関する報道関係者お問合せ先>

「トビタテ！留学JAPAN」PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内） 担当：楠（070-3115-6616）、新井

TEL：03-6894-3200／FAX：03-5413-3050／MAIL：tobitate@ssu.co.jp

<https://www.tobitate.mext.go.jp/index.html>

今夏、「トビタテ！留学JAPAN」で留学する高校生（例）

◆日本から直行便で約4時間！公立高校のプログラム等でも渡航先選ばれている人気急上昇中の渡航先！ フィリピン セブ島へ行き、プログラミングを学びインターンシップを体験

渡航期間：8月6日（月）～8月26日（日）

高校：静岡県 私立高等学校2年の男子高校生

留学内容：世界を舞台にITの力でもっと便利に発展させることに貢献したいという目標から、現地の専門スクールでプログラミングと英語を学び、現地企業見学やインターンシップを3日間実施します。また、スラム街でのボランティア活動も2日間行う。さらに、日本の良さを伝える活動として、現地の高校生との交流を3回予定しており、日本の文房具や折り紙、アニメの魅力を伝える予定です。

◆生涯健康社会を支えるダンスインストラクターになることを夢に、お隣韓国でダンスを学ぶ！

渡航期間：8月31日（金）～10月8日（月）

高校：東京都 私立高等学校2年生の女子高校生

留学内容：韓国ソウルのダンス・ボーカルスクールと韓国語学校に通いダンスを学びます。3歳からバレエを習い、チアリーディングで大会に出るなどで経験を積み、将来は高齢化が進む日本や東アジアで、生涯健康で笑顔でいられるように教えられるダンスインストラクターを目指しています。

◆「パイロットになる」という夢の実現のため、セスナのフライトを体験できるカナダ バンクーバーへ！

渡航期間：8月3日（金）～8月21日（火）

高校：新潟県 市立高等学校1年生の男子高校生

留学内容：小さい頃から「パイロットになりたい」という夢を持ち、その実現のためにカナダにあるインターナショナルフライトセンターへ留学します。留学しなければ体験できないセスナのフライトを行い、大学もパイロットを学べる学科を目指し日々勉強しています。

◆野球の指導法を学びにドミニカ共和国へ留学！

渡航期間：8月1日（水）～8月14日（火）

高校：埼玉県 私立高等学校2年生の男子高校生

留学内容：野球部の主将ながら怪我で1年間野球が思うようにできないことをきっかけに、日本とは全く違う野球指導方法だというドミニカ共和国で野球の指導法を学ぶことを決意。スペイン語の語学学校に通いながら、現地チームの練習に参加します。

◆大好きな豚のため、動物福祉先進国デンマークに留学！

渡航期間：7月7日（土）～7月24日（火）

高校：東京都 都立高等学校2年生の女子高校生

留学内容：大好きな豚と触れ合える養豚経営者になる夢のため、アニマルウェルフェアが進んでいるデンマークへの留学を決意。農業学校へ通いながら、養豚場や研究施設へ勉強に行く予定です。

◆「幸せ」になるために何が必要か探るため、ブータンへ留学！

渡航期間：7月30日（月）～8月18日（土）

高校：山梨県 市立高等学校1年生の女子高校生

留学内容：幸せの国、ブータンと言われることに興味を持ち、文化や宗教などに触れ、自分なりの「幸せ」の答えを探して世界中が「幸せ」になるには何が必要かを考えたいと思い留学を決意。ブータン人と結婚した日本人女性が経営に関わっているブータンの中高一貫私立学校に留学します。

★このほか、今夏535名が世界50か国に随時飛び立ちます。留学する高校生への取材を希望される場合、詳細をお伝えしますので、ぜひお問い合わせください。